

リアル人工芝のメンテナンス方法

人工芝は天然芝と違い、日陰でも美しい緑を保ち場所を選びません。
また、散水・施肥・芝刈りなどの面倒なメンテナンスが必要なく、1年中美しい緑を保つことができます。
その人工芝をより綺麗に長持ちさせるためのメンテナンス方法や注意事項をご紹介します。

メンテナンス方法



1. ブラッシング

歩行などにより使用頻度の多い場所の人工芝は、徐々に倒伏してきます。倒伏してきた場合は、デッキブラシ(ナイロン毛)でブラッシングして人工芝のパイルを立ててください。倒伏の初期段階であれば、ブラッシングすることで、パイルが起きてきます。



2. ゴミ・落ち葉などの除去

人工芝に落ちたゴミや落ち葉などは、ホウキ等で集めて撤去してください。ブロア(送風機)や掃除機等で集めて撤去する事も可能です。

3. 土の除去

人工芝に土や砂が入り込むとクッション性が落ちます。入り込んだ初期段階ですと、デッキブラシやホウキで除去できますので、気になるようでしたら都度除去してください。



4. 飲料水などの汚れ

人工芝内での飲食は大丈夫ですが、お酒やビール、ジュースなどの飲料水をこぼした場合は、水道水で洗い流してください。そのままにしておくと、こぼした飲料の種類によっては、にちゃにちゃになる場合がありますのでご注意ください。洗い流す場合、水圧を過剰に高くせずキリもしくはシャワー状にして洗浄してください。



5. 油類、ガソリンなどの揮発油の処理

人工芝上で油類、ガソリン等の取り扱いはご遠慮願います。万が一汚れた場合は、まず布で拭き取ってください。その後、布に中性洗剤を含ませて、まだパイルについている油類を拭き取り、(シャワー状で)水洗いしてください。そして、自然乾燥させてください。

6. ペットなどの糞

固形物は取り除いてから水道水で流してください。

7. 雑草の除去

土壌中の雑草が人工芝を突き抜けてくる場合があります。また、飛来した雑草の種が人工芝の上に落ち、雑草が根付く場合もございます。根が張り、大きくなる前に抜いてください。オプションの人工芝用防草シートを使用しますと、人工芝の下からの雑草を防ぐことができ、また防根機能もあるので、雑草の抜き取りも楽です。



使用上の注意

1. 集中的な過重

狭い範囲での集中的な過重は人工芝のクッション性が損なわれます。過重により、人工芝に跡が残った場合はブラッシングで症状を軽減することができます。(軽減する措置であって、完全に復元することは不可能な場合もございます。)
椅子や折りたたみ机・テントの脚、ピンヒール、スパイクなどの突起物があるものはご注意ください。

2. 火気・高温

人工芝の上で火気の発生する行為(タバコ・花火・焚き火など)は行わないでください。電源ケーブルなどの高温を発生する機材を長時間設置する場合は、人工芝の変質の原因になる恐れがあります。断熱材を使用するなどして、人工芝に接触しないようにしてください。

3. 車両走行

基本的に車の乗り入れはオススメできません。ハンドルの切り返し、急発進、急ブレーキ等で芝の葉が折れたり擦り切れたりします。どうしても乗り入れる場合は養生材を敷いてください。

4. 排水

大量の水を人工芝上に排水する場合、直接、急激に排水を行わないでください。また、一箇所に集中しないように分散させ時間をかけて排水してください。

分からないことは
お気軽にお問い合わせ
ください!

人工芝専門店『らくやのう』

【運営】(株)白崎コーポレーション 福井県鯖江市石生谷町11-23



TEL 0120-020-497

(受付時間 平日9:00~17:00)

URL <https://人工芝生.jp>